

# 日本一の星空を見に 阿智村へ

阿智村は、本町から車で約一時間半の距離にある、長野県の南部にある村です。平成二十一年に阿智村に合併した旧清内路村との二十年以上にわたる交流を礎に、平成二十四年に本町と阿智村は友好交流都市協定を締結しています。その阿智村は、環境省に「星が最も輝いて見える場所」として認定されています。今月号の特集では、阿智村との交流の歴史と、夏の星空観察ツアーについてご紹介します。

## 二十年以上の絆

本町と阿智村との交流は、平成四年の旧清内路村の子ども会との交流から始まっています。子ども会では、今でも交流会が続いています。阿智村の豊かな自然環境のなか、本町の子どもたちは普段は体験できない魚つかみや川遊びを楽しみます。逆に、阿智村の子どもたちは航空館bionや空港で飛行機やヘリコプターに目を輝かせて見入ります。

また、清内路地区は、三百年以上の歴史のある手作り花火でも有名です。住民が火薬から製造する全国で唯一の花火で、長野オリンピック閉会式のフイナレも飾りました。十月に行われる奉納花火は一般の方の入場は制限されています。しかし、本町は清内路地区のご厚意で毎年十五名ほどの観覧枠を頂いています。

このような交流を礎に、本町と阿智村は、平成二十四年には友好交流都市協定を、翌平成二十五年には大規模災害時に応急活動や復旧活動を互いに助

け合う災害時相互応援協定を締結しました。

## 日本一の星空

その阿智村で、平成二十四年に始まった人気企画が「星空ナイトツアー」です。阿智村は、四方を日本アルプスの山々に囲まれているため、星空がとてもきれいに見える村です。環境省の実施する調査において、星が最も輝いて見える場所として選ばれたこともあ



ります。

都会に近い本町では、夜も街の光のためにかき消されてしまう小さな星が無数にあります。阿智村の漆黒の闇は、そのことに気付かせてくれます。

星空は空気が澄んでいる冬が最もきれいと言われています。しかし、山間地では冬に晴天に恵まれることはあまりありません。初夏から秋は、満天の星空観察のチャンスです。

阿智村では、日本一の星空を、空により近い場所で見られるよう、冬はスキー場としてにぎわう「ヘブンスそのはら」のゴンドラを活用しています。山麓駅から約十五分間乗車し、標高千四百メートルの山頂に到着すると、そこは街の光など余分な光が届かない高原です。空を見上げると手が届きそうな無数の星々が広がり、輝いています。星空観賞だけでも感動する上、日によっては、会場でライブや散策などのイベントが開催されます。

阿智村との交流をより一層深めるため、本町に在住の方から参加者を募集するバスツアーを企画しました。詳しくは、三ページをご覧ください。

今年度の星空ナイトツアーの開催期間は十月十五日（土）までです。ただし、九月二十日（火）から九月三十日（金）までは休業期間です。夏場でも冷えるので、長袖などをご用意ください。会場は芝生の広がる高原です。座